

## 第 13 期 第 18 回 np.広告学校 講義録

### 小霜クラス 9 回目

### 「明治ほほえみ らくらくミルク 表現案(最終)」

(注・受講生の表現案に使用されている画像は基本的にネット上のフリーのものや自分たちで撮影したのですが、もし肖像権などで問題あるものがございましたら [contact@nopproblem.co.jp](mailto:contact@nopproblem.co.jp) までご連絡ください。)

※明朝体部分は黄背景部分に関し生徒達が講義後、講義録を完成するまでに議論したやりとりです。

#### ◆日時

2020 年 11 月 16 日 (月) 19 時～21 時

#### ◆出席者

宇宙人、ヒゲのび太、テンパリ君、ボンボン、定規、語尾ハート、エセビ、反抗期、スカシスト、エサ待ち bot 生徒 10 (女性 5 名、男性 5 名) +小霜

小霜：今晚は

語尾ハート：全員揃っています。

小霜：じゃあはじめようか。

一同：お願いします

小霜：じゃあさっそく、もらったものを。これは(↓)わかりやすいね。もう、とってもよくわかる。

わかりやすい(エセビ)



小霜：でもこれね（↓）、ちょっと何言ってるかわかんないんだよな。

笑える(エセビ)



エセビ：考えてたのは子どものためにいろんな荷物持ってるお母さんがもうちょっと楽になるよみたいなことを、ちょっと面白く。なんかこの、我が子の目を見たら逆らえないみたいな感じのことを書きたかったんですけど。ちょっとうまく言えなかったからという。はい。

小霜：子どもの事を思えば、こんな荷物になるよねって話したと思うんだけどさ。それをね我が子の要求とした時に違和感残ってると思うんだよね。子どもが要求するわけじゃないよ。これ子どもが要求するということで、なるほどに持っていくのは無理やない？子どものことと思ったらこのぐら

いってということで違う表現探す努力をもっとすべきじゃなかったかな。まだ甘いんじゃないかな。

**エセビ** 要求って主体的なものだから、赤ちゃんを主語にして当てはめるのは間違いだったなと思います。

今までたくさん、お持たせしていました。

ママのバッグには、  
ミルク、哺乳瓶、お湯の入った水筒、おむつ、  
おしりふき、オムツ替えシート、ゴミ袋、着替  
え、授乳ケープ、ガーゼ、おもちゃ、日焼け止  
め、虫除けスプレー、母子手帳、  
約3kgがすべて赤ちゃんの必需品。

荷物を持ち歩くママのために、  
らくらくミルクは「もっともっと持  
ち歩きやすいミルク」へ。



ママを身軽に。  
明治  
ほほえみ  
らくらくミルク

**小霜**：一応わかるはわかるかな。なんだろうまあこんだけ入っているのは分かるのね。でもらくらくミルクに換えたら全部消えるわけじゃないじゃない。こん中でこれだけが、なくなるよみたいなことを示さなきゃいけないんじゃないかなって思うよ。ごまかしてる感じがする。

**エセビ**：らくらくミルクに換えてバッグの中に入っているものが全部なくなるわけじゃない。ですね。

**小霜**：こんだけあって、せめて。せめて、哺乳瓶とミルクと水筒はこれを置き換えるだけでもずいぶん違うよねって話はちゃんとしないと。どっか、嘘っぽいというか、**だましが話に入ってくる**んじゃないかって。

**反抗期** 私も別の課題でやってしまいました。誠実な姿勢を忘れないようにしなければ…

**エセビ**：そうですね

**小霜**：これは(↓)まあまあわかるね。

A案：分かりやすいもの

ボンボン

つい、頑張りすぎちゃうママへ、  
【休乳日】というご提案。



今日は、注ぐだけ



「たまには、サボりたい」

小霜：まあこれも一応わかるかな（↓）

B案：笑えるもの（POPなイメージを植え付ける）

ボンボン

授乳の負担が、減った。  
ぐっすり寝られる時間が、  
ちょっぴり増えた。



今日は、注ぐだけ



「たまには、サボりたい」

小霜：これはねちょっと意味が分かんなかったの

C案：泣けるもの（真摯なイメージを植え付ける）

ボンボン

## 20年後のキミへ 母より

今、腕の中で元気に眠っている君へ  
20年後、君はどこで何をしていますか  
元気で立派に育っている事を  
心の底から願っております

私のお母さん（君のお婆ちゃん）の  
時代には、液体ミルクはがなかったらしいです  
君はいまごくごく飲んでいるけど（笑）

辛い事もしんどい事もたくさんあるけれど、  
今のこの気持ちを20年後の君へ  
送ります。

今日は、注ぐだけ



「たまには、サボりたい」

ボンボン：すみませんちょっとこれは、次のページに書かせてもらったんですけど、

C案：泣けるもの（真摯なイメージを植え付ける）

ボンボン

## 20年後のキミへ 母より

申し訳ございません。  
泣ける方向に関しては、  
「完成」と思える形にまで  
持って行く事が出来ませんでした。

「たまには、サボりたい」

完成まだしきれなくて。意図としては、真摯なイメージを植え付けてるところで。お母さんから子どもへということイメージしながら。その中でうまくらくらくミルクのメリットを伝えたいなと思ったんですけど。ちょっとそこを詰めきれなかったっていうところ。

小霜：無理じゃない？そのスタンスが。20年後の君へってのはさ、赤ちゃんがどうなるかって話じゃないか。赤ちゃんからすればさ、液体ミルクだってなんだっていい訳で、知ったこっちゃないって話でしょ。こーゆう話するときは「この子のこと思って」みたいなわけで。液体ミルクを使うのがね、「この子のこと思って」って言う話にならないよね。いやこれね、お笑い方向ならあるかもしれないよ。20年後の君へって言って。あなたのためにお母さんはどんなことも気にしない。どんな苦労も厭わない。でもミルクはちょっとしんどいから液体ミルクにしました。みたいなおちだったらあると思うんだけど、真面目に20年後の君へで入ってきて、液体ミルクに落とすっていうのは、無理じゃないかな。

ボンボン：ありがとうございます。

小霜：だから筋がわるいよね。発想の。どうにもなんないと思う。

小霜：（↓）これはよくわかる。わかりやすい。

#### エサ待ちbot\_わかりやすい案

ミルクの手間を減らしてみた。それだけで、  
私らしく笑顔で、育児にも向き合えるようになりました。

初めての育児は、正解がわからないことばかり。  
思い通りにいかないことだって、たくさんあって。  
つつい些細なことに、イライラしてしまったり。  
自己嫌悪に陥ってしまうことも、ときにはあります。

そんなときには、らくらくミルク。  
液体ミルクで、ちょっとだけラクをしよう。  
授乳のストレスは一旦忘れて、息抜きを。

これが私らしくマイペースに、子育ても頑張れちゃう秘訣なんです。



1049923194



小霜：これね（↓）、ちょっと違うんじゃないかなって思うんだけど。

エサ待ちbot\_笑える案



小霜：いやあのね、コピーライティングするときに気を付けなきゃいけないのはね、ある言葉っていうものが、その時代時代で共通認識ってことがあるわけよね。「昔はそんな夢見たことありました」っていう言葉が、どういう時に使われるかって事なんだよね。意味わかる？

エサ待ち bot：「昔はそんな夢を見たことありました」っていう言葉がその日常的に使われると言うかそういうフレーズではないってということですか？

小霜：「昔はそんな夢を見たことありました」っていう言葉は、昔は、「ああ、こうなるといいなー」っていう風に思ってたけど今は諦めました。って。そういう時に使う。

エサ待ち bot：あーそうゆうことですね。なるほど

小霜：そうゆうフレーズなんだよ。

エサ待ち bot：何か悪いことに対して、今回使っちゃってるというか。使い方が間違ってるって事ですよね？

小霜：そう。あのね、俺ね SNS でこれ使ったことあったんだけど。いやコロナの緊急事態宣言のあたりって本当にね、すべての打ち合わせが消えて、もうねスケジュールまっしろっていう時期があったわけよ。まだオンライン会議とかも導入する手前ぐらい。俺もうすることなくて、一日中 netflix

と ps4 とスイッチでゼルダの伝説をやったりしたんだよね。ずっと。わ、この生活いいなーと思  
ったんだよ。そのとき。俺引退したら、こんなことなんだと思ってさ。これ多分コロナ禍でずっ  
と続くだろうから、こんな感じでずっといくのかなと思ったわけ。そんな夢を見たことありまし  
たって書いた。オンラインが普及して結局どっかのタイミングで、ばーっと仕事が入ってさ。いま  
また元通りなんだよ。スケジュール表みるとね。つまり、そう。こんな感じで続くのかなーって思っ  
てたら、全然そんなことなかったわー。みたいなときにこの言葉使うわけでしょ？これさ、逆なん  
だよ。「我が子の夜泣きがおさまらず、一晩中ミルク作り続ける」って言うのは良くない話じゃな  
い。その、良くない話にくっつける言葉ではないわけ。

**工サ待ち bot** : おかしな行動になってしまっ。

**小霜** : 何でこのことをくどくど、言うかって言ったらね。あのね、この言葉ってどういう時に使うの？つ  
ていうことをおろそかにしがちなんでね。言葉のづらの意味だけを見て、コピー作るっていうこ  
とやりがちなんだけど、それは全然違うっていうことを言いたいわけ。

**スカシスト** 言葉の持つ多面性を十分に理解した上でコピーを扱わないといけないと考えました。

**工サ待ち bot** : 例えばなんですけど、「こんな夢」のところが「そんな悪夢を見たことがありました」だ  
ったら成立しますか？

**小霜** : ダメ。全然ダメ。なんでダメかわかる？

**工サ待ち bot** : 昔はそんな夢を見たことがありました構文から抜け出せていないから？

**小霜** : そうゆうこと。そうゆうこと。結局この構文自体がね、いいことを期待したんだけどダメだった  
ていうことに使うもんだから。そうじゃなくって一晩中ミルクを続ける。「今ではすっかり夢のよう  
です」とか「今では悪い夢のようです」になっていたらわかる。「今では悪い夢を見ていたよう  
です」とか。でも前者は成立しないわけよ。後者は成立する。その違いわかる？

**工サ待ち bot** : 結局その、言葉が与えるイメージが全く違うものになってしまっている？ということ  
でしょうか？

**小霜** : つまり、今使っている「昔は〇〇を夢見たこともありました」っていうのは、こ  
うゆう場合には使  
わない言葉なのよ。そういうことに敏感になってほしいわけ。同じ意味だからいいだろう  
みたいな感じでやっちゃうと、何言ってんだろみたいなことになっちゃう。これって、  
ネットスラングみたいな感じだと思うんだけどね。どっちかって言うと、どう  
言う文脈で使われるのかみたいなことを、ちゃんとやっぱり、おさえないといけ  
ないと思う。ちゃんとおさえないで使っちゃうと滑る。こういう事に敏感になっ  
て注意して欲しい。



**宇宙人** 個人的には「昔そんなことがあった」に更に「夢」が被って、つまりいつどんなことがあったんだ？ 結局夢だったの？ 昔あった現実だったの？ と混乱してしまいました。「今では悪い夢を見ていたようです」だと一言なのでわかります。回りくどくなっていないか気をつけます！

**語尾ハート** 言葉の意味をわかったうえで使わないと事故

**ボンボン** 冷静に見直したら、言葉の意味がおかしい事に気づくはずなので、疑って本当に大切なのだなど感じました。

**エサ待ち bot** 字面だけ見て、書けた！と思いついていたのですが事故っていました・・・時間をおいて検証すること遵守します

**小霜**：（↓）これはまあわかる。まあ、義務以外にもっとフィットする単語がありそうな気もするけどね。

### エサ待ちbot\_泣ける案



pixta.jp - 70649957

**育児を頑張りすぎないことも、母親の義務だと思う。**

産後うつは10人に1人がかかる病気。

「母親なのだから、完璧でなくちゃ。」  
そう強く思うばかりに、  
頑張りすぎてしまうお母さんが  
発症する病気です。

そして年間50人ほどのお母さんが、  
この病気が原因で命を落としていると言われてます。

完璧な母親を目指すことは素晴らしいことかもしれませんが、  
最も大切なのは心身ともに健康な母親でいること  
ではないでしょうか。

辛くなったらいつだって、楽をしてもいいんです。  
授乳だって、楽をしてもいいんです。

頑張りすぎないことが、  
あなたのお子さんのためになります。

明治 ほほえみ **らくらくミルク**

注ぐだけの、余裕



**エサ待ち bot**：なんか色々な義務があるその母親っていうことに対して、何か色々言わなきゃいけないような義務がたくさんあるけれども一番大切なことはこれだよっていう意味で。あえて義務っていうことばを使ったんですけど。確かにちょっとかたいかなっていうところで、ちょっと迷ったんですけど。

**小霜**：ま、かたいのと、ちょっと重いかな。「母親に求められています」とか。引っかけりはないけど、「母親の義務だと思う」というのがよくないかもしれない。例えばその、「母親の義務にな

ってきています」って言われたらそんなに抵抗がないんだけど。これ言ってる人が、その一。これは母親の義務ですよって義務を作ってるじゃない

**エサ待ち bot** : 確かに。

**小霜** : そんな勝手に義務増やさんといてよ！って気持ちになるよね。そうゆうね、反発みたいな気持ちがうまれないかなって思うよね。

**エサ待ち bot** : なんか「義務だと思う」にした理由としては、義務って結構かたい言葉だからそれを「義務です」とか言ってしまうとちょっと押し付けがましいかなって思ったんですけど。「義務だと思う」にしても、たしかにそうですね。

**小霜** : 「義務です」もおんなじでさ。この広告を言ってる人。明治がね、明治が義務作ってるじゃん。これあなたの義務ですよって。言ってるわけでしょ？いやそんなさあ、明治「義務を増やすなよ」みたいな感じがこれはするんだよね。うんでも、まあ今の社会情勢的に「義務になってきていますよ」みたいな風に言われると、そうなんだーって。要は「逃げ」よね。明治がその義務を作ってるんじゃないくて、世の中がそういう風に言ってるんでみたいな。うん。いやあの、実際ターゲットのお母さんがこれ見てどう思うかは正確にわかんないんだけど、なんか僕はちょっと嫌な感じがしたのよ。なんで嫌な感じがしたかっていうのを掘り起こしていくと、義務作ってる感じが嫌なんだなと。また一つ義務増やしたぞって言うね。そこなんだって思って。だったらどうしようかなと。「思うんです」じゃかたいか、んじゃ、「思う」にしたところで、そう「嫌さ」は変わらない。「嫌さ」の原因は何だっという時に、いやそういう風に書いて欲しいんだよね。ターゲットとして見た時に、なんか嫌な感じがしないかっていう。何が引っかかるんだって考える。「です」だと固いから嫌なのかな？と思って、「思う」にすればいいんじゃないかって、君は考えたわけだけど、本質はそこじゃないってことなんだよね。実は。

**エセピ** ミルクという商品が特にそうだと思うのですが、作り手視点だと気付かない引っ掛かりって怖いなと思いました。ターゲットの目線から気持ちよく受け取ってもらえるメッセージになるよう追求したいです。

本当のところはなんだよっていう、見極めをやってほしいわけ。

**エサ待ち bot** 一瞬でも違和感を感じられたのであれば、きちんと何に違和感を感じたのか？他のところではないのか？ということを徹底的にやっていきたいです

**小霜** : (↓) まあ、わかる

語尾ハート（川口） わかりやすいもの  
軸：たまにはさぼりたい



ミルク作りを一回お休みしてみたら、  
赤ちゃんに優しくできました。

作る手間なし。



小霜：これはね（↓）ちょっと意味不明。

語尾ハート（川口） わらえるもの  
軸：たまにはさぼりたい



ねこの手も  
借りたい

呼んだ？

調乳で疲れている主婦  
のイメージ

ねこの手は、借りられないけど  
少し手間を省ける液体ミルクなら  
あります。  
注ぐだけですぐ完成！



語尾ハート♡：なんか、「猫の手も借りたい」って言ったら猫が来ちゃったって言う設定なんですけど。

小霜：あのね、てかそもそもなんだけど、これもさっき言ったね、共通認識の話で。猫の手も借りたいてさ、どういうシチュエーションなの？普通は。

語尾ハート♡ : やることがいっぱいありすぎて、パニックになりそうなとき

小霜 : そうだね。 やることがいっぱいありすぎて、手が回らない時に「猫の手もかりたい」っていうよね。調乳で疲れてるときってのは、やることいっぱいってこととは、違うでしょ。そこがね、そもそも、もういい加減なんだよ。

語尾ハート♡ : ハイ

小霜 : 赤ちゃんに手がかって大変だって言う。ね、その大変さと、やることがいっぱいありすぎて手が回らないのと、違うじゃん。同じ大変さでも。だから、その赤ちゃんの調乳で疲れましたって時にね。誰か助けていう時にさ、猫の手を借りちゃいけないんだよ。「猫の手」ってそういう時に使う日本語じゃないから。「猫の手」を使った時点でこれもうだめなんだよ。アウトなんだよ。だったらね、大変だって言葉尻だけ見れば、同じかもしれない。でも、大変さの中身は違うじゃん。違うのに、別な種類の大変さを解決する素材を持ってきちゃうとさ、「わけがわからない」になっちゃうわけ。「言葉尻で同じだからこれ持ってくればいいや」っていう。そうゆうの、もうやめてくれて言うてるわけ。そこじゃなくて、その感覚。受ける印象。感覚的に変だもん。「猫の手も借りたい」っていう気持ちと自分で疲れたっていう気持ちが噛み合わない。

語尾ハート♡ : そしたらこの授乳で疲れたっていうイメージじゃなくて、なんか、ごみも捨てなきゃいけないしオムツも変えなきゃいけないみたいなあたふたしてる状況の主婦の絵だったらまだ成立するっていうことでしょうか？

小霜 : だったらまだわかる。ママはやることがいっぱいある。ゴミ捨てもあったり、洗濯もあったり、猫の手も借りたいて言ったら、猫が液体ミルク持ってきたみたいなね。それはわかる。せめて授乳ぐらいは液体ミルクにしませんかって言ったらわかるね。

語尾ハート♡ : そうですね。それはちょっと面白いかなとか思ったんですけど、どうですか？もしそういう場合だったら。

小霜 : まあ、でも猫が何者なのかって話だね。猫が何してくれんの？来て終わり？

語尾ハート♡ : 来て終わりで、「でも猫にはミルクあげられないよな」って思います。

小霜 : いや俺だったらね、猫がのぞいててさ、頭のうえに缶のつてればそれでいいと思うけどね。「猫の手も借りたい」と言ってる、缶のせた猫はそれ見てるっていうさ。それでいいんじゃない。つまり「猫の手も借りたい」っていう心の叫びに答えて、猫はこれ持ってきたっていうさ。なら意味は通じるよね。

語尾ハート♡ : そうですね

小霜：せめていっぱいある中で授乳は、これでやったらどうですかっていう話じゃなか。これそうね、ちょっと相当出来が悪く。一番最初「猫の手も借りたい」っていうことの置き方が間違ってる。猫は「呼んだ？」ってきてるけど、この猫何なの。何者なの？っていうことが全くわかんない。笑えるものを持って言って、ふわっとね。「猫だしとけばいいだろう」みたいなことやるからね、かえって面白くないのよ。ちゃんとそこ、猫出す意味なんだろうとか、ロジックで作んなきゃいけない。ロジックないものってないよ。これ面白いじゃんっていう表現は絶対に、ロジックがね裏にあるから。なんかふわっとぶち込めばいいじゃんいいじゃんみたいなものってね、かえってね、寒い。そこはね、笑えるものって言っても理屈で構造つくるっていうふうにしないとダメ。

宇宙人 説明できない=見る人に解釈コストがかかると面白さが打ち消されてしまうような感覚があります。引っかかり、よくわかり、説明を求められたら言えるような表現にしないとダメですね、特に広告では、、、

エセビ パツと表現を見て、疑問が残らないことが面白さにも繋がるんだろうなと読んでいて思いました。面白さを理屈や構造でつくるっていうのは、みんなに分かりやすい表現ということでもあるのかなと思います。

スカシスト 理屈のある面白さというのは、一見つまらなく思えてしまいますが、芸人のネタにおいても分かる通り、「笑い」というのは私たちが想像していたことへの裏切りで起こるものであるとも思えるので、相手に一定の想像をさせるためにも、理屈や構造でつくることの必要性を感じました。

小霜：まあまあこれ(↓)はわかるけどね。でもこんなことは、ありえないのでね。これ、笑える方向じゃないか？って気がするんだけど。

母から届いた荷物の上に、  
母からの手紙が置いてあるイメージ。

語尾ハート(川口) 泣けるもの  
軸：たまにはさぼりたい



母から届いた液体ミルクで、  
育児に対してちょっとだけ、気が楽になりました。

注ぐだけで、すぐ飲める

これね、でも一箇所ダサいところがあるのよ。どこだと思う？



語尾ハート♡：「たまにはサボりなさいよ」と「頑張りすぎると疲れちゃうからね」のメッセージが重複してるところ？母からの手紙のところ。

小霜：ちがう。

語尾ハート♡：そうすると、「育児に対してちょっとだけ気が楽になりました」っていう感想は書かなくても良かったのかなって思いました。

小霜：「母から届いた液体ミルクで、育児に対してちょっとだけ気が楽になりました」のキャッチイらないよね？

語尾ハート♡：はい。

小霜：液体ミルクがあることでね、気が楽になったっていうのは、母の文面で感じさせればいいわけじゃんか。いやこれ、ここにね、キャッチいれるってことは、（母からの）文面がまだちゃんとね、出来てないってことなのよ。これ二箇所あるのがもうダッサイのよ。これは（「母から届いた液体ミルクで、育児に対してちょっとだけ気が楽になりました」）もう絶対いらないね。前から言うけどクリエイティブは引き算なんだよね。もう、足すっていう行為はすっごくください行為なの。これはもういらない。母の文面だけで、どこまで伝わるかっていうふうにしなればいけない。何となくこの文面だけだと、ちゃんと意図は伝わってないんじゃないかなと思って言葉を足すみたいなことは絶対にやめてほしい。

語尾ハート♡：ありがとうございます。

小霜：まあまあ、これは（↓）わかるね。



**A方向 スカシスト**

調乳の手間が減ったら、  
思ってたよりず〜〜っとラクになれた！！

家事をしている時に「ギャーギャー」  
寝ようと思った時に「ギャーギャー」  
赤ちゃんは、ママのことなどお構いなしで  
いつでもどこでも元氣よく泣いてしまいます。

「ママだってちょっぴり休みたいよ…。」  
「たまには手抜きしたいなあ…。」  
そんなママの切なる願いは、  
液体ミルク『らくらくミルク』で叶えましょ！

ほんのちょっと生まれる余裕がきっかけで、  
忙しい毎日でも、ママの笑顔がいっぱい増えますように。

注ぐだけで、すぐ飲む。  
明治 搾乳済み  
**らくらくミルク**



小霜：これはね（↓）、ちょっと意味が分かんないんだよね。

B方向 スカシスト

## 妻よ、何があったんだ！？



調乳の手間なし  
明治 調乳済み  
らくらくミルク

スカシスト：夫目線で、「妻よ何があったんだ」っていう語り口調で、まず興味を持たせて。タグライン調乳の手間なしってすることで、赤ちゃんに与えるミルクの手間がなくなるらくらくミルクの価値を伝えたかったです。そうすることでビジュアルの変な格好をしている妻とされる女性が、リラックスする時間ができるという意味がわかってくるっていうロジックにしました。

小霜：今さ、リラックスって言ったじゃない。このポーズさ、リラックスしてるの？

スカシスト：あーこれ、ヨガのポーズらしいです。リラックスしてるらしいです。

小霜：いや逆に言うとさあ、調乳に手間かけてる人はヨガできないの？

スカシスト：必ずしもそういうわけではありません。

小霜：ヨガと調乳に何の関係があるの？

スカシスト：直接の関係はありません。ただその、調乳をしないことでできた、その気持ちが軽くなる。気持ちが軽くなったってことだったり、時間が増えたり。自分に対して、かける時間が増えた。っていうところを象徴するビジュアルにしたかったっていう意味があります。

小霜：これもね、前言ったと思うんだけど、パズルはやめようって。こうだからこうだからこうだから。みたいな。そうゆうの、分らないんで。例えば「風が吹くと桶屋が儲かるんです。」それは、何故だ〜？みたいなさ。そうゆうのについてきてくれないのよ。これってさ、パズルなのよ。

いや「液体ミルクに変えたら、妻がヨガをやりはじめました。」何故だ〜？って言ってるんだよこれ。誰だって「そんなんわからんな」って思われておしまいなんだよこれ。なぞかけなんだよ。言っている意味わかるかな？

スカシスト：わかります

小霜：いや、パツと見てね、「確かにね」ってなればいいと思うよ。

スカシスト：そこのスピード感っていうものがなくて。その...考えさせちゃう時間が多いってことですよ？

小霜：遠過ぎてたどり着けない。複雑すぎて。や、これもね。さっきから言っている共通認識の話なんだけど。ヨガでこういうポーズをやる時って、この人どういう心情なの？一般的にね、人がヨガやって、家の中でこういうポーズをとっていますと。どうゆう気持ちでこのポーズしてるの？

スカシスト：先ほど言ったようにリラックスをしたいっていう気持ち...

小霜：うそつけ〜。確かにね。このポーズは、ヨガのリラックスのポーズって言われているよ。たださ、「ちょっとリラックスしようかなー」って時にこんなふうになるか？

スカシスト：それならば寝転んでますね

小霜：そうだろ？リラックスしたいなっていう時はさ、普通ソファーに寝転んだりさ、だらっとするよね。

スカシスト：はい

小霜：これを見てさ、あーリラックスしてるなーって思う人なんて、いないっつーの。

スカシスト：そうですね。

小霜：これを見ると、何か急に頑張り始めたなって感じよ。あヨガ頑張ってるなとかさ。つまり、「妻、何があったんだ」っていうのはさ、なんか突然ヨガに目覚めたな？とかヨガに目覚めてなんか頑張ろうとしてるなっていう話じゃない。そこまではok？

スカシスト：はい

小霜：そのヨガに目覚めて、なんか頑張り始めたってことと、液体ミルクとはつながらないでしょ？

スカシスト：繋がりません

小霜：でしょ？リラックスのポーズだからリラックスしてるんだ。調乳の手間がないから、リラックスしてるんだって言うんだけどさ、言葉だけでしょ？リラックスっていう言葉。名前だから繋がってるって言うんだけどそんなふうには、見る人は感じないよってこと

スカシスト：はい

小霜：いやその、授乳で手間なくなったんで、そういうことで、ひと手間減ってリラックスしましたっていう。その気分を表すビジュアルってどういうものか？どうゆう写真が載っていたらふさわしいのかっていうと、もっと相応しいものがあると思うんだよね。僕は。それを探す時に言葉尻で探すなって言いたいわけ。

スカシスト コピーとビジュアルの掛け合わせが表現であると思っていましたが、生活者にとってそれがパズルのように難しい解釈をさせてしまっていました。「リラックス」という言葉だけで繋がっているようで、見る人にとってはそう感じてもらえるとは限らないことを理解しないとけません

スカシスト：はい

小霜：「リラックス」だからリラックスのポーズでいいんじゃないかみたいなの。安易。なんか何回も今日言ってるけど、大事なのは感覚。見た時にどう感じるか。学校の、勉強をしてるわけじゃないんだからね。クイズ番組とかじゃないんだから。「これはなんというポーズでしょうか??」みたいなのさ、話をしてるわけじゃないんだからね。「これはなんだろう。なんだ！ヨガのリラックスのポーズね。なるほど」なんて思ってくれやしない。そんなことを期待しないでくれって言いたいんだよね。

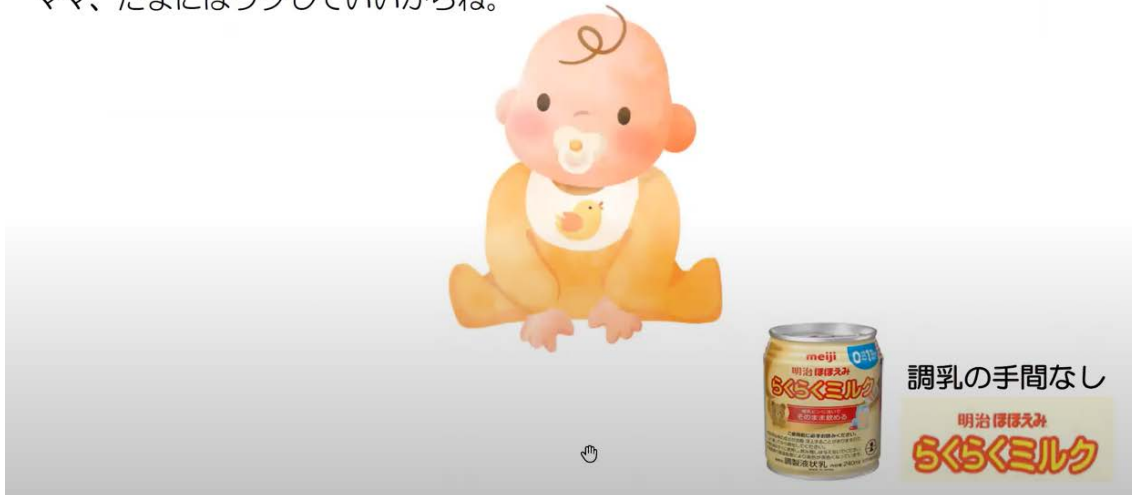
語尾ハート 私はなぞかけ系広告が好きだったので、スカシストさんの広告は面白かった。しかし、生活者には、パッとわかりやすいものでないと勉強になった

スカシスト：はい。

小霜：これは（↓）、うーん。ちょっと、まあ、合ってるけど。なんで？ってのがわかんないよ。

## C方向 スカシスト

ママ、たまにはラクしていいからね。



**スカシスト**：なんかその、以前頂いたアドバイスで。広告表現はキャッチ・ビジュアル・タグラインの掛け算と言いますか、一貫して一つの表現にするっていうところを今回はすごい意識して。キャッチコピーを今回は凄い、結構、説明的にはせずに。全体で完成させたいなっていう風に思ってます。だからこの「ママたまには楽しんでいいからね」っていうところを見ただけでは、確かに何も分からないのですが、タグラインとの兼ね合いで「調乳」って所にその、ママは負担を抱えていたんだっていう。そういう手間がなくなることでラクになってくれるんだって。もしかしたらパズル式のような思考フレームで考えていたのかもしれませんが。

**小霜**：これは別にパズルだとは思わないよ。わかりやすすぎるくらい、わかる。ただ、なんか、、、ちょっと物足りない感じするね。調乳の手間がないので、赤ちゃんがたまには手抜いていいよって言ってんだけどさ。実はね「楽しんでいいからね」って言うのと、「調乳の手間なし」っていうのはね。同じなんだよね。おんなじことを言ってるんだよね。楽しんでいいからね=調乳に手間かけなくていいからねじゃない。同じことを言い方変えて、言ってるだけって感じがするのよ。赤ちゃんの言葉にするにしても、真面目方向だったら、「ママ、ちょっと疲れてませんか？心配になってきました」みたいなこと言ったら、調乳の手間なしでもわかるじゃん。この子は液体ミルクのことは知らないじゃん。この子はお母さんがちょっと来て、心配しているだけでいいわけよ。「疲れてきたら、手間抜きましょう」って二つでこの一つのメッセージ。わかる意味？

**スカシスト**：わかります。自分のキャッチとタグラインがその…意味の重複というか。言葉づらがちょっとちがうだけで意味が一緒だったっていうことですよ。

小霜：そう。全然掛け算になってないんだよね。

スカシスト 違う言葉のつもりが、意味合いで重複してしまっている。この状態こそ何度も避けなければならないと言われていたのに。。。赤ちゃんがいう言葉として、どんな言葉が適切なのかをもっと考え抜かないといけないと思いました。

スカシスト：意図してたことと全然見当違いだった。わかりました。

小霜：この子は何でこんなこと言ってるのかわかんないし

スカシスト：なんで「ラクしていいからね」って思った理由っていう？

小霜：そう。多分この子は明治の回し者なのよ。調乳の手間がないよ。つまり使いましようって言うてるんだよね。そうゆう風にしか受け取れないじゃん。

エセビ ここ、ちょっと笑ってしまいました（笑）

知っているから、こういう風に（「ママ、たまにはラクしていいからね」）言ってるわけでしょ？だったらさ、「ママたまには、らくらくミルクつかっていいからね」の方が潔いんじゃない？この子、液体ミルクの存在を知っているのか、知らないのか。知っているんだったらこいう風（「ママたまには、らくらくミルクつかっていいからね」）な言い方のほうが潔いし。知らなかったら、ラクしていいなんていうはずないし。

宇宙人 どうせ回し者でわざとらしいならここまで言った方が確かに面白いです（笑）

スカシスト：ありがとうございます。

小霜：まあまあ、これは（↓）わかる。

（わかりやすい案：反抗期）



小霜：これね（↓）、これはダメ。これはダメよ。なんでダメかわかる？



反抗期：コンテンツありきだからですか？映画のキャラクターを知らないと分からない？

小霜：知ってたらわかるの？

反抗期：そうですね。赤ちゃんなのに中身はおっさんで見たいなその映画があるんですけど

小霜：赤ちゃんの中身がおっさんだということと、災害ってどんな関係があるの？

反抗期：ボスベイビーが、人間界を調査するみたいな立ち位置にいるっていうストーリーとかけてみたんですが。

小霜：あのね、今日何回も言ってるけど、こういうさ、おっさんベイビーを使う時ってさ、災害では使わないよね。こういうビジュアルから、災害のことは連想しない。そうでしょ？絶対何か違うものを連想する。だから、コピーで、突然「災害」とかって入った時に「はっ？」て感じがする。

エサ待ち bot コンテンツを使う場合、伝えたいことの内容との距離が生活者目線で遠くないだろうか？ということをきちんと検証しなければならないと感じました

なんでコイツが災害って言うてるの？みたいなさ。そういうチグハグ感。や、つまり、なんかね、自然じゃないんだよ。自然じゃないっていうのは災害の時に備蓄で、らくらくミルクを置いといて



くださいよっていう時に、それを誰に言わすのか？コイツに言わせようってことにはならないと思うね。そういうメッセージを伝えるキャラとして誰が相応しい？って時にコイツに言わせようってことにはならないと思うよ。

**宇宙人** セレクトの納得感みたいなものでしょうか。大真面目なニュースにお馬鹿タレントが出たらおかしいみたいな、広告内の TPO 気をつけます。

**反抗期**：この映画が面白いなっていう。先行意識がありましたね。

**小霜**：それがねえ、もう気に入らないのよ。無理くり、こいつをなんか使ってやろうっていう時にね、なんかもう災害っていうコンセプトでもコイツをぶちこんでやろうという感じが。だってもう無理だもん。何か災害でこれ使ったら変だなーって。やめちゃうっていうことをしてほしいんだよね。これすごいアイデアじゃないよ。この程度のアイデアを捨てずに、無理くりにとめようとする姿勢がちょっと本当に気に入らないわ。スタンスとしてね。

**反抗期** 肝に銘じます。

**小霜**：(↓) これは分かる

(泣ける案：反抗期)

**反抗期**：なんか、「思ってた。」「止まった」っていう風にすれば、ショック伝えられる文章になるかなって思ったんですけど、最後の文章が「～でした」になっていて、混ざってる感じなんですけど。それはやっぱり合わせた方がいいのかなってというのは考える時に、あったんですけど。どうでしょうか？

**小霜**：ん？もう一回言って。

**反抗期**：はい。「大丈夫だと思ってた」「母乳が止まった」っていう文章と、「何々しませんでした」っていうのが混ざってるのは、気持ち悪いのかなとかを考えてはいたんですけどそれはどう捉えられてますか？

**小霜**：それは別になんともないけど。そこに特に気持ち悪さはないけどね。

**小霜**：いや、まあまあ、これは(↓)わかる。



テンパりくん\_わかりやすい

荷物を軽く！外出をもっとラクに！

明治 ぽぽえみ SSKミルク



**小霜**：これは(↓)駄目だねダメな理由はわかる？

テンパりくん\_笑える



荷物を軽く！外出をもっとラクに！

明治 ぽぽえみ SSKミルク



テンパrikun：はい。先ほどから言っていたように、この人の文脈を無理矢理「身軽」ってところにくっつけているので、この人が出てこなきゃいけない必然性がないからです。

小霜：これもね、さっきから言ってることと同じなんだけど、身軽の意味が違うじゃん。これ、外出の時に身軽なるって話でしょ。

テンパrikun：そうですね。はい。

小霜：これ外出の時の身軽か？この表現。

テンパrikun：すみませんでした。

小霜：つまり、このビジュアルから外出っていうことを全く連想しないわけよね。だから意味がわからない。つまりさ、「身軽つながりだ」って考えたんだと思うんだけど、言葉尻でつなげるのはやめてほしいよって言いたいわけ。今日何回も言ってるけどさ、「リラックス」っていう名前のポーズですって、言ってもリラックスしているようには見えないじゃないか。とかさ。「身軽」って言うてるけどさ、これ外出の時の荷物が軽いよってことをさ、全然連想しないしさ。関係ないじゃん。ね？言葉尻でオッケーっていうのは、絶対ない。そういうのは感覚大事。ぱっとみてさ、連想するかどうかっている。そこを大事にしなきゃいけない。

テンパrikun 言葉を掛け合わせる表現ってよくあると思うんですけど、それが成立するのは、両方とも同じ内容を想起できるようにまとめられる場合だけなのですね。確かにそうしないと広告を閲覧している人に意味がわかりませんものね。伝わるってことの意味がまったくわかっていない...

テンパrikun：すみません。このビジュアルに対して最終的に提出したものはこれだったんですけど、もともと飛んでる人。ママがリュックを跳ねて飛んでるみたいなの。そういうイラストを入れようとしていて。その後に、面白くないなと思ってしまって変にやっちゃいました。

小霜：それはね、面白くするやり方が間違えてる。

テンパrikun：はい

小霜：違うものにしちゃったんだよね。ママがリュックを背負いながら、飛んでるっていうのはまだ分かるよ。まだ分かるんだけど説明的で面白くないなってのもわかるんだけど、こうではない。面白ければいいって話じゃないからね。意味が分かるところが前提だから。はい。

テンパrikun：ありがとうございます。

小霜：いや、まあ、これ(↓)はわかる。

ママへ

ぼくのために、いつも、おもたいバッグを  
もってきて、ありがとう。

おでかけのとき、おむつや、おきがえや、ミルクとか、いっ  
ぱいのおにもつをじゅんびしてくれてありがとう。  
ママのおかげで、ぼくはおでかけがとってもたのしいです。

でもね、ママはいつも、かたを、いたそうにしているね。  
ぼくは、えきたいミルクをのめるから、ママのおにもつを  
へらせるといいな。

ママのかた、いたいのいたいの、とんでいけ～！

荷物を軽く！外出をもっとラクに！

明治 ほほえみ **らくらく**ミルク



小霜：これもわかるよ。(↓)

授乳は休めない。でも、ラクはできる。



開けてすぐ、授乳ができる。



明治 ほほえみ **らくらく**ミルク



小霜：これ（下記）ね、ちょっと違うんだよ。



小霜：前回は言ったと思うんだけど。

定規：前回と変えた部分は、「すぐ泣き止んだ」って部分と、タグラインを変えたんですけど。

小霜：ってことは前回言ったのをちゃんとまだ理解できないってことだね。

定規：すぐってところにあまり価値を感じないってことですか？

小霜：ちがうちがうちがう。そこには意味はあるよ。でもね、それって、普通に授乳してもできるでしょ？液体ミルクじゃなくてもできるじゃない。

定規：まず価値を定義したときに、空けてすぐ授乳できるっていう、らくらくミルクの価値は即効性なのかなと思って。で、それをキャッチコピーにも「すぐ泣き止んだ」っていう風にしたんですけど？調乳するにしても20分でミルク作れるし、みたいなことですよ？すぐミルクを準備できることがそんなに強いかって言ったらわからないってことですか？

小霜：そこがわからない。すぐって一体、何分のことを言ってるの？30分でも遅いかもしれないじゃん。

定規：その、下で缶開けて授乳するという写真を見せることで。本当にあの、その...スピード感を演出していて。2~3分で授乳ができて泣き止ませられるんだっていうのを、ビジュアルと一緒に見せることで理解してもらえないかなって思ってたんですけど。

小霜：なるほどね。

定規：そうですね

小霜：これで狙ってるのはさ、普通に調乳するよりも、こっちの方が早いよと。液体ミルクのほうが早いし、こっちの方（液体ミルク）が早く泣き止むよってことだよな？そのね、調乳と比べると、こっちの方（液体ミルク）が早いんですということを、キャッチコピーで言おうとしたときに、これでわかるかな？

定規：その視点でいうと、確かに言葉では「すぐ」っていう言葉を使ってるんですけど、すぐっていう言葉の中に「楽」だとか「真夜中であんまりそんな動きたくない」とかって時に「ささっとできるよ」みたいないろんな意味を持たせたかったと言うか。すぐって言うことでラクって伝えたかったですね。その速さにフォーカスしてなかったですね。

小霜：いや、だからねいろんな意味を出したいって言うんだけど、それ普通に調乳してね、30分で泣き止んだっていう事象も、「すぐ泣き止んだ」っていう風に言えるんじゃない？

定規：そうですね

小霜：つまりね、「いつもの調乳よりもすぐに泣き止んだ」ってことがわからない。

テンバリくん これがわからなきゃいけないんですね。他のやり方でも、泣き止むことは実現できるけれど、らくらくミルクを使うともっと早いよと。僕は本質をよく見逃してしまうので、注意したいなあと思いました。

定規：そうですね。そうですね。

小霜：いや、この表現で一番大事なものはそれですよ。「いつもの調乳よりも、すぐ」ってことを言いたい。だったら、その「すぐ」って言葉だけでそこまでわかるかってことを疑わないといけない。「すぐ」って言うとけばわかるだろうっていうね。一番大事なところを こだわらないで、「さらっ」と終わらしちゃっているところがね、スタンスとして違うなって思うのよ。いや、怪獣とかはさ、どうでもよくなってさ、こんなのは、飾りじゃない。本当にその、いつもよりサッと泣き止むよ。サッと泣き止んだ驚きを言葉にするんだって。そこが大事なところじゃないか。そこへのこだわりが見えないんだよね。

テンバリくん 「すぐ」でわかる！と僕も思っただけなんです、感じました。その言葉でわかるのか、わからない「かもしれない」運転ということですよ、。



言葉もよくよく考えたら、すごくへんてこで。これ、誰の言葉？

語尾ハート 誰の言葉か意識しないで書くのはやめる。表現も大幅に変わる。、

定規：第三者がその状況を描写していると言いますか

小霜：第三者？

定規：なんかママがちょっと客観的に、その状況を説明している感じですかね。あんまりそんな、話者は意識してなかったですね。その状況、ビジュアルの説明みたいなことになってて。

小霜：それがまずダメで。これ 誰なの？ 言ってる人は。話者によって表現って変わってくるから。第三者だったらね、いや あの家の赤ちゃん、怪獣だよなって言わない。ひとの家の赤ちゃん怪獣だなんて。だから、この言葉はやっぱりお母さんの言葉だと思うんだよね。お母さんの言葉とすると、ま、なんか、とにかく大声で泣いて、困らせる怪獣みたいな子どもが、わーっ何かあつという間に泣き止んだわーっという。驚きを言葉にしてるわけでしょ？ きっと。だったら驚きを表現ちゃんどできてるかって？ 話。

定規：そこを誰の言葉なのかっていうのをもう少し意識して書いてたら、確かにこの言葉でいい足りてるんだろうかとかっていう視点があつたかもな。と思いました。

小霜：怪獣って言葉を使うんだったら、泣き止んだが相応しい言葉なのか？ とか怪獣だったら大人しくなったとかさ。そういう言葉の方がフィットするんじゃないかとかあると思うんだよね。何が言いたいかって、ちょっと乱暴だと思うのよね。「怪獣」って言葉を見つけました。怪獣で文つくれればね、出来上がりみたいな感じがね、なんかちょっとね。ちょっとやっぱり半端な感じがすんだよね。これ誰の言葉なの？ 何に驚いてるの？ 全体として単語は相応しいの？ っていうところにこだわって欲しいね。

定規：はい

小霜：まあまあまあ、これ（↓）はわかるよ。

定規 - 泣ける方向

ママの「働き方」にも、「改革」が必要だ。

開けてすぐ、授乳ができる。



明治ほほえみ  
**らぐらくミルク**



小霜：はいこれ（↓）もよくわかる。まあなんか全部ちゃんと言っている感じがする

ヒゲのび太  
わかりやすい

ミルクの手間がなくなるだけで、  
思ってたよりずっと、  
こどもにやさしくなれました。

注ぐだけで、すぐ飲める。



明治ほほえみ  
**らぐらくミルク**



小霜：これは（↓） ちょっと距離遠いかなーって気もするけど、まあ、いっか。ギリギリよしとしよう。

らくらくミルクを使った日は、妻の盛り付けがやけにカワイイ。



ヒゲのび太  
面白い

調乳の手間ナシで、気持ちに余裕。



ヒゲのび太：なんかちょっと、ママとかが入ってたりとかそうゆうリアルな描写が必要だったって感じですかね？

小霜：絶対いらない。そういうがあるとダサくなる。もっと言うと、写真一枚でいいけどね。

ヒゲのび太：そうですね。ちょっとなんか最初、実はこの右のカレーライスにしたんですけどちょっと、なんかちょっと盛りたくなってしまうて。

小霜：やっぱりこの写真にまだパンチがないから。一発で勝負できるような絵を見つけてきて、一発がぼーんってあるのがいいと思うけど。これ（カレー）がちょっと力不足だから、色々持って来てたっつのは気持ちわかる。けど、セオリーとしてはもう「一発勝負」だと思う。

テンパリくん：こういう場面、結構仕事であります。メインの絵が弱いから、他の絵を重ねて強くしたいっていう。しかし、そうではなく、強い絵が勝負だから、そこを追求しきらなければならないということですね。

小霜：これね（↓） 全体的にはいいんだけど、ちょっと、引っかかるのは「もっともっと」という言い方ね。いやそこまでのものか？ だから気持ちとしては、「少しでも」の方があってると思う。



小霜：あるいは、だから「授乳ぐらいは」とか。授乳ぐらいはラクしていいと思うんです。ある種意見広告じゃんか。「お母さん子育て大変ですよね」なんか、意見を言いながら、らくらくミルクに買ってくれて言うさ、いやらしさを感じる。足元見てる感じをさ。意見広告なんだから、意見広告として、「だから、授乳ぐらいはママがラクしたっていいと思うんです」とかね。授乳ぐらいラクしましょうよ。みたいなのだったら、いやらしさが多少緩和されるかなって。意見広告ばいこという時って言葉遣い気をつけたほうがよくなって。微妙なニュアンスでね。捉え方が変わってくると思うからさ。

ヒゲのび太 コロナ禍でこういう広告をたくさん見た気がします。意見広告に乗じて、買わせるような。丁寧にやっているつもりが気づいたら、自分も同じようなことをしていました。言いたいことをそのままに、ニュアンスで軽くした小霜さんはほんとにすごいと思いました・・・勉強になります。

宇宙人 これが出ると一気に臭みが出ますね…私もやりがちなので気をつけます。

ヒゲのび太：ちょっといやらしさに意識が行ってませんでした。ありがとうございます。

小霜：ちょっといやらしい感じがあるよね。

語尾ハート 意見広告でいやしくなったら炎上してしまう可能性あるなと思った。

ヒゲのび太：綺麗ごとっていうのに、商品のことを言っているのがちょっと反発を買うっていうか。

小霜：こうゆうこというときはニュアンスに要注意。

小霜：宇宙人さ、君なんか先週も今週も提出遅れてきたよね。理由は？

宇宙人：先週は単純に忘れてしまって。今週はちょっと全然思いつかなくて、遅くなってしまいました。

小霜：あのさ、日曜日の10時に締め切りしてるのは理由があるのよ。それは月曜日に出してもらってたんでは、月曜日はまあ僕も坂根もね、他の予定が入ってるかもしれないので、見る時間はないかもしれないんだよね。だから日曜日の朝っていうふうにしてるわけで。日曜日だったら予定が入ってこないから、そうしてるわけだしね。月曜日の午前中に坂根が取りまとめてるんだけどさ。無視されるとさ、困るんだよね。

宇宙人：すみません

小霜：坂根も、月曜日いつ届くんだかわかんない案を待って、届いたら作業してって、やるわけで。時間を無駄にしてるわけじゃなか。僕だって、どっかで時間とって手前でチェックしなきゃいけない。いや、よほどの理由があって、ああ、そういうことだったらしょうがないよねってやつだったら、別だけど。これ忘れましたとかそんなんで、遅れるんじゃ困るんよ。

宇宙人：すみません

小霜：もう1回やったら退学だからね。これ。

宇宙人 申し訳ありませんでした。

小霜：これは(↓)まあわかる

わかりやすい案宇宙人



小霜：これは(↓)ちょっと意味が分かんないなあ。





小霜：何が言いたいの？

宇宙人：この案ちょっと自分でも、ちょっとまとまっていなくて。

小霜：何を指したの？

宇宙人：お出かけする時にらくらくミルクがあるとお母さんもちょっと気持ちが明るくなって酒とか飲んだりする日もあるのかなみたいなことを言いたかったんですけど。

小霜：お出かけ先で気持ちがラクになって酒のもうってこと？

宇宙人：そうですね

小霜：赤ちゃん連れてお出かけしてさあ、今日荷物軽いから、酒飲んじゃおみtainな風になるか？なんてこういうものを目指したのかな？不思議。

宇宙人 子供を見守らなきゃいけないから家に帰るまでお酒は飲まないですね…。赤ちゃんも飲む、大人も飲む、お出かけの日の特別な飲み物という表現がやりたくて、本質を見失っていました。

小霜：あのさー、これは、、、(↓)「身も心も軽くなったのが」気になるよ。身はね軽くなるよ。でもさ、心まで軽くなるかな





**宇宙人**：そうですね授乳室を探さなきゃとか、たいらな台がなきゃみたいなことから少し解放されたらラクになるのかなとは思ったんですけど。赤ちゃんの世話自体はしなきゃいけないことなので、そこまで言っては良くなかったかもと思いました。

**小霜**：そういう意味なのね、心ね。わかんないなあ。気になるものが減ったからその分楽しめたよってことが言いたいんだよね？それ一足飛びだよ。ミルクの荷物を減らしたら、楽しい思い出ができましたってというのはさ、これ...欲張り すぎなんじゃない？

**宇宙人**：軽くなった。軽くなってどうした。まででよかったかもしれません

**小霜**：さっきの案もそうだけど、いろんなことを詰め込もうと思って、まとめられなくて、わーってなっちゃってる。要素を詰め込もうと思ったけどうまく整理できずに、いびつのままだしちゃってるって。そんな感じがする。ちょっと欲張るのやめたら？

**小霜**：これは(↓)まあ分かるよね

わかりやすい案宇宙人



なんでこれがわかるかっていったら、ミルクの手間が減った。ま、身軽になったし、もうちょっと歩ける気がするっていう。ま、疲れていないってことだね。つながるよね。でもさっきのこれ(↓)はさ、つながってないんだよね。

笑える案宇宙人



宇宙人：そうですね

小霜：荷物が楽だから酒飲みたいってのはさ、変な人やな。アル中？この人は。いやアル中にしか思えない。君は違う意図を思ったかもと思うんだけど。普通はアル中ですよ。この人は

その前のこれも（↓）まあ、一見ね、君の中では筋が通ってると思ってんだらうけど。何で？って感じがするよ。むしろね、「ミルクの荷物を減らして、思い出をたくさん詰め込んだ」ぐらいだったらわかるかな。

**宇宙人** コピーなのにシチュエーションをタラタラ説明していました。この短さで全然伝わる内容でした。

泣ける菓子屋人



**宇宙人**：確かにそうですね。それで十分伝わります。

**小霜**：色々言っているがゆえに、意味が分からないってことかもしれない。そうね、、、。目指すものはまあわかるんだけど、整理のしかたに難があるね。本当にこれでわかるんだらうか？っていう風に、客観的に見るって言う事をやってほしい。あそうだ、あの僕の書いた本を読んでくれていたら分かると思うんだけど今回ね、やってもらった表現っていうのは「らくらくミルク」の表現じゃなくて、「液体ミルク」の表現なのよ。

**宇宙人**：ここが今一番のメーカーだからってことですか？

**小霜**：うん、まあそうね。本当は「らくらくミルクの表現」でありたいんだけど、今回「液体ミルクの表現」でよしとしたっていう理由を言っておこうと思って。えっとね液体ミルクがどんだけ普及してるかっていうことがあって。かなり普及していて、みんな使ってまーすっていう状態になったときに、「液体ミルクいいですよ」っていう表現をしてもあまり意味がないわけよね。競合商品と比べて、こっちの方がいいですよっていう。競合商品をどうマウントするかっていう。そういう風にしないといけない。それがセオリー。まだまだ開拓余地があるよと。使っていない人がいるよって言う段階だったら、その競合と比べてこちらいいですよじゃなくて、液体ミルクそのものもいいですよっていう風に言っていた方がいい。競合にも流れるかもしれないけどトータルで自分のところが得するよねっていう判断がある。今回その辺のちゃんとしたデータはないんだけど一応想定としてはまだまだ開拓の余地はありそう。それから、「らくらくミルク」が業界一位っぽいので、液体ミルクっていう表現をやることで「らくらくミルク」が一番太るだろうということ。あと、講義の都合上、一旦その競合を意識するんじゃなくて、液体ミルク価値をどう伝えるかっていうところにポイントを

置きたいってこともあったんで。こういう風にやってもらったということ。実際仕事として、明治からオファーがありましたという時は、もう「液体ミルクが何か」ってことはみんなわかっているから、そうじゃなくって競合と比べたときのらくらくミルクの良さを伝えてくださいってなることが多いと思うよ。そんな時はこういう表現というわけにはいかないと。そんなふうに理解してほしい。わかる？はい。じゃあ、らくらくミルクは、とりあえず今日で終了と。らくらくミルク全般を通して、何か疑問質問があったら。

**テンパrikun**：ありがとうございました。今最後に頂いたお話に関連してなんですけれども、例えばらくらくミルクもアイクレオも物を作るための技術はそんなに変わらないとなった時に、物自体の差別性を見出すのが缶と紙パックみたいな話はあるかもしれませんが、ユーザーでもそんなに物凄く違うという風には見ていないという場合に、さっきのようなお仕事のオファーがあった時小霜さんがまずここを差別点にしましょうっていう風に考える道筋についても是非お話を伺いたいです。

**小霜**：ナンバーワン商品だったら、ナンバーワン感だね。メジャー感。1番売れてます感。ターゲットからしてもね、そんなに変わんないなて思ってるわけ。そんなときにターゲットが何を思うのかっていったら、こっちの方が安心じゃないか・こっちの方が失敗しないんじゃないかって言うね。そうゆう気分で選ぶはずで。安心感失敗しない感をくつつけるために、ナンバーワンぽさ、メジャーっぽさみたいなものを表現する。細かいスペックとかじゃなくって、日本中のママから支持されてますよーみたいな。無難な。王道な感じの映像を作ると思う。逆にね、ナンバー2以下だったら、スペック訴求だね。紙だったらね、いかに紙がすぐれているかをいうよね。紙だからこんないいことがあるんですってことを言う。

**テンパrikun**：その理由としてはそのスペックの差をしっかりと表現してお客さんに伝えることで、この商品はナンバーワン商品と違うものだよっていうふうに認識してもらおうっていうことですか？

**小霜**：ナンバーワンじゃないけど、こっちの方が優れているんだと。安心感では勝てないからね。紙の方が、何がいいかわからないけど...紙だとこんないいことがあるんです。っていうことで、確かに、紙の商品の方がいいかもなーって思ってもらえるお客さんを増やす。これが、セオリー。一位二位の。でもね、これくらい差がない商品だったらもう店頭勝負ね。店頭でね、安い方が売れる。

**テンパrikun**：結局 価格で戦うっていうことですね

**小霜**：そう

**テンパrikun**：なんか思い当たる節は色々あり、ありがとうございます。



小霜：らくらくミルクが一位になってる理由として、店舗で値引きしてるんだと思うよきっと。値引きしてるのが一番売れるんよ。店頭でも売り負けないことやりながら、メジャー感を作っていくという。そういうのが答えになるかな。

テンパりくん：ありがとうございます。

ヒゲのび太：今の質問のちょっと続きなんですけど、価格競争から逃げたいんですけどっていうお客さんがもしきた時って、それはどういった攻め方になるんでしょうか。例えば、えっと、王道感とか先ほどいったナンバーワンの安心感とかナンバー2以下のスペック訴求みたいところで、広告を打ってるんですが結局何か安い方が売れちゃってるっていう現状があるっていうような相談が来た場合とかはどういったこと考えてなんかそこから受けるように考えているのでしょうか。

小霜：いやいややることは変わらないよ。店頭は店頭。でもコミュニケーションで表現することは別に変わらない。いやもうあまりにもね、値段で差がついていて、例えば、こっちの商品の方が20円高いんだみたいなね、話になったら、20円高いだけの理由をつけなきゃいけないじゃない。だとすると、もう中身が違うっていう話もね、すごい頑張ってるしかないよね。原材料のミルクがね、国産なんだとかさ、北海道何とか牧場だからとかね、そういうことを言って、だったら高くてもしょうがないのかなとか、あるいは子どもに飲ませるもんだからやっぱりちゃんとした物を飲ませたいわって思うお母さんだったら買うかもしれないとかさ、そこに期待するって話になると思うのね。値引きどころっていうレベルだったら、表現の方向性にそんな変化はないかなって思うけど。

ヒゲのび太：ありがとうございます。

語尾ハート♡：今日私が出させていただいた泣ける案に関してなんですけど、なんかこんなダンボール箱にらくらくミルクを詰め込んでお母さんから差し入れが来るっていう案なんですけど、

母から届いた荷物の上に、  
母からの手紙が置いてあるイメージ。

語尾ハート（川口） 泣けるもの  
軸：たまにはさぼりたい



私はいたってありえる話で泣ける話って本当に思って書いたんですけど、さっき小霜さんから、このシチュエーションはないなみたいなことをコメントされて、認識が私の中で世の中的に違うんだなって思ったんですけど、そういう自分の中でちょっとおかしい認識を常識的に戻すにはどうしたらいいのかなっていう風に思いました。

**小霜**：いやもしかしたら僕の認識が間違っているのかもしれないけど。ああいうことって、ありえるよってことかもしれない。ちょっとそこは分かんないんだけどさ、でもららくミルクを送ってくるかな...

**語尾ハート♡**：他のものもいっぱいある中だったらあるかなっていう風に。確かにらくらくミルクだけだったら...

**小霜**：いや、あのね、授乳って結構お母さんのポリシーとかあるじゃない。全部ね、母乳で育てるんだって言って、おっぱいを貯めるみたいな人もいるしさー、なんかその他人がね、こうすべきと押し付けていいもんじゃないと思うんだよね。それはね、田舎のお母さんが大根送ってくれるのとわけが違うと思うんだよね。たまには野菜も取りなさいよって、大根と白菜送ってきたっていうのと違うでしょ。下手したら相当喧嘩になるよね。

**語尾ハート♡**：あー私は完母で育てたいのみたいなこと？

**小霜**：そうそう。なんでお母さん、私のやり方に口挟むのとかさ、私のことわかってないみたいなさ、話になりかねないじゃない。だからあれをまともに受け取っちゃうとね、結構辛い話だなって気がするのね。俺ギャグならいいと思ったわけ。あり得ない話だって置きちゃったら、受けいられるかも。まともに泣ける話って置きちゃうとね、ちょっとなんかデリカシーがないというか。嫌な感じがしてくるんじゃないかなって思う。



スカシスト 親としてのインサイトが掴みきれていないのかなと思いました。

語尾ハート♡：嫌な感じがわかってきました。逆に面白くもって面白くするんだったら、もっとあんなちっちゃいダンボールとかじゃなくて、もっともっていっぱい差し入れがくるとか。

小霜：いや、物を増やしたら面白いかと言ったらそれは関係ないと思うんで。表現の筋としては、あんまり良くないと思うのね。上手くいかないなと思ったら、もうスパッと断ち切って、新しい案を産んだほうが良いと思う。

語尾ハート♡：わかりました。ありがとうございます。

テンパリくん：もう一個質問させてください。前回、今週の課題の提出の前に、小霜さんから完成をさせるように、それをしなければ、人に物が伝わるっていう感覚を得ることはできないからっていうコメントをいただいた話と、あと一方で僕たちよく会社にお金をもらう時は物が動く感覚、商品が棚から動く感覚をお持ちなさいっていう話をされるんですけども、それと小霜さんがおっしゃってたことは全くの=というふうに考えてもよろしいでしょうか。

小霜：えっとね、まったく=ではない。まったく=ではないというか、まずね、伝わらないと始まらないじゃない。伝わるのが前提というか、まず最初のフェーズとしてあるわけだよ。伝わんなきゃそもそも意味がない。ただ、伝わったとしても、そこから先この伝え方でほんとうにお客さんが買ってくれるのかなっていうのがあるわけだよ。その物が動く感覚というのは、そのことを言っているわけで、ほんとにこの伝え方で売れる？っていうね、経験値の話。いろんな広告表現をやるなかで、これやったら売れたね、これ意外と売れなかったねというのがあって、この表現でやると結構売れそうぞっていう、そういう感覚をもちなさいっていう話なんだけど、僕が言っている完成させるっていうのはその手前の話よ。まずは伝わるということが大事なので、伝わるっていうことをやりましょうねと。

テンパリくん：そうしないと、そもそもその次の行動っていうところには届かないし、何より「広告をする」っていうことは「人に価値を伝える」っていう事だから価値が伝わってないことには何も始まりませんっていう。

小霜：始まらない。

テンパリくん：ありがとうございます。

小霜：他には？じゃあ、次回なんだけど、次回はちょっと箸休めで。今年気になった広告。テレビ cm とかね。テレビ cm でなくてもいいんだけど。気になった広告表現だね。この表現は新しいんじゃないかとか。今の気分。今の社会の気分に合ってるんじゃないか。とかそういうものをピックアップして。なぜ自分がこの広告に？この広告気になるのかっていう理由も添え、提出するというところで。基本一つで。選びきれないんだったら二つまで。あんまりね、ニッチな。「これ誰もしらな

いだろ」みたいなものじゃなくって。わりかし、みんな知ってるよねこれはって言うものを選んで欲しい。コロナってこともあってなんとなく、世の中の人たちの気分も変わる中で、なんかでももうこの広告がうまく、今の気分を掴みとってるよねみたいな。つかんだ上で表現してるよねみたいな。そういうものを君たちの視点で。これ、結構うまいんじゃないかっていうものをピックアップしてほしい。なんか質問ある？

**ヒゲのび太**：これ今年の広告ですよ？今年出された広告って。

**小霜**：あんまり古いものでなくて、今年の春ぐらいからローンチしたものかな。

**ボンボン**：動画とか静止画とか、平面とか、そういう指定はありますか？

**小霜**：特にない。けど、今の気分を掴み取っていて、割とみんなに向けているってなると、やっぱりテレビになるんじゃないかなって思うのよ。ただ平面でもね、結構これ見たよね。話題になったよね。とかであれば構わない。他は大丈夫かな？じゃあ次回よろしくお願いします

一同：ありがとうございました